



令和5年度
介護労働講習(実務者研修を含む)

実施期間 6月15日～11月22日

～私たちは介護のプロを応援します～

(公財)介護労働安定センター
広島支部





修了者へ贈る言葉

6月15日の開講から105日間という長期間の講習を修了された皆さん誠におめでとうございます。

縁あって出会われた皆さんですが、開講当初は年齢幅も広く、経験してきた職種も異なり不安で一杯だったと思います。特に本年度も、コロナ禍の中での講習となり、苦楽を共にし励まし合った日々は、皆さんの今後の人生にとって大きな財産となることでしょう。

介護人材不足の現状から皆さんに対する社会の期待は、大変大きなものがあります。介護の現場は辛いことが多いかもしれませんが、不安や悩み、苦労などを一人で抱え込まず、同期の仲間と互いに相談し合い、励まし合って、当センターへも遠慮なく相談に来てください。

この講習で習得された知識や介護技術を、これからの介護現場の第一線で活かし、「ありがとう」があふれる職場でご活躍されることを支部職員一同大いに期待しております。

広島支部職員一同



講習風景

開講式



生活支援技術



医療的ケア演習



講習風景

レクリエーション実践



修了生講和



施設見学





講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

2時間かけて講習へ通いました。
大変楽しい授業で、仲間もたくさん
できました。難しく何度も途中で投げ
出したくなりましたが、講習を終
えて、やり切った乗り切った感があり、
「私にもできた！」という爽快が
あり充実した半年間でした。これか
ら頑張れそうです。(50代女性)

定期的な試験等があり、気が抜
けなかったですが、内容は充実し
ており、介護についての基礎は身
についたと思います。実習におい
ては、力量不足を感じたが、メンタ
ル面における土台があるので乗り
切れました。修了後のフォローもお
願いしたいです。(40代男性)

自分の年齢でしっかり学べるの
か、仕事としてやっていけるか不安
でした。座学では予習が必要と思
い、とにかく必死でテキストを読み
ました。そのおかげか、しっかりと
学べたと思います。講習も講師の
いろいろな考え方を聞き、勉強に
なりました。(60代女性)

講習を通じて、介護に対する見
方や考え方が大きく変わりました。
世間のイメージはあまりよくない印
象に感じます。介護職は「やりがい
のある仕事」だと自信をもって伝え
ていきたいと思います。一緒に過
ごし、励ましあい頑張った仲間にも
感謝しています。(40代女性)

様々な講師の話を聞くことができ、
大変有意義な時間でした。知り、
学び、考え、悩んだすべての時間
は、この講習を受講したからこそ
の貴重な経験であったと感謝してい
ます。就職先の選択の幅が広がり
ました。予想以上に楽しい講習で
した。(40代女性)

講習は楽しく、分かりやすい講
師がたくさん来てくれてよかったで
す。演習は、プレッシャーと戦いな
がら信頼できる講師のご指導で、
無事に合格することができました。
クラスの雰囲気も良かったので、
あっという間だと感じました(40代
女性)





就職先を訪ねて



犬飼 和正さん

令和4年度修了者



介護労働講習で学んだことは？

介護の基礎知識から現場で活かせる実践的な技術まで学ぶことが出来ました。
セカンドキャリアの第一歩を踏み出す私にとって、これからどのように専門性を高めていけば良いか将来の道筋を示してくれる大変有意義な講習でした。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

同法人のデイサービスでの経験を経て、現在はグループホームで勤務しています。
グループホームはアットホームな雰囲気では一人ひとりの利用者様に寄り添った介護ができることに魅力を感じており、私にとって介護が“天職”だと日々実感しています。

講習内容などについてのご感想は？

医薬品業界を定年し、介護の道を選択しました。医薬品は患者様の病気を治すものですが、介護は利用者様の人となりを理解し、人生の先輩として尊敬し「長生きして良かった！」と笑顔で返していただけるよう支援する大変さ・やりがいのある仕事であることを知識・技術に加えて学ぶことが出来ました。

これから受講される方へメッセージをお願いします

正直、最初は「不安」と「苦」でいっぱいでしたが、講習には同じ志を持つたくさんの仲間が居ます。仲間に不安をぶつけ、励まされたおかげで1週間後には「今日は何んなことが学べるのか」というワクワク感に変わってました。大丈夫!! 半年後、最初の「不安」は「自信と達成感」に変わっているはずです。自信を持って挑戦してください。応援しています！。

事業主さまから一言

ニックスケアセンター五日市 高嶋 潤一 氏



普段の仕事ぶりはいかがですか？

入社当初は希望されていたデイサービスでのお仕事に苦労されていましたが、環境を変え、近隣のグループホームに勤務し始めてからは、持ち前の物腰の柔らかい立ち居振る舞いや経験を積みたいという積極性もあり、今ではグループホームになくてはならない存在です。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護をするためには専門的な知識や技術は大切ですが、もっと大切なことはホスピタリティの精神ではないかと思います。「ご利用様の笑顔が見たい、元気になってほしい」という思いが知識・技術向上の意欲につながり、学んで得たことがご利用様に還元できた時になんともいえない達成感があります。

笑顔やホスピタリティの精神をモットーに日々、事業運営に取り組んでいます。ニックスにも多くの講習修了者の方が在籍し、活躍されています。皆さんが介護業界に一步踏み出される日を楽しみにしております。